

小學
中等科

修身格言

林昇校閱
今井匡之纂輯

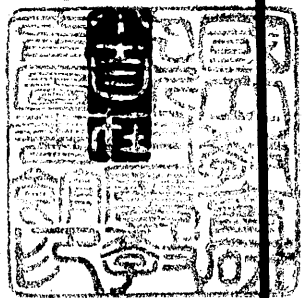
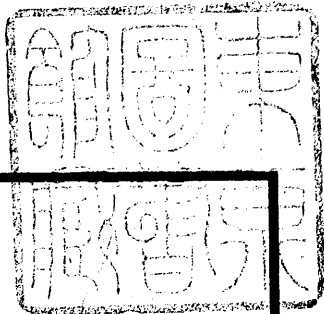
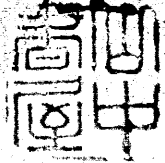
四

學齋林昇校閱
鳳岡令井匡之纂輯
第四卷

小學
修身格言
中等科

明治十六年十月
第三日版權免許

井洌書屋



卷八

子

必

教

歲次甲申

一月之吉

招



修身格言題言

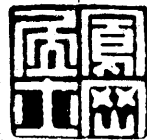
卷之三

孔子曰。性相近也。習相遠也。人之幼也。智想未定。僂當使誦讀聖賢之格言。以收其放心而養其德性也。然古語奧旨。童蒙未易遽寤。則有扞格不勝之患。故今撫蒐淺近易寤而可爲鑒戒之語。以爲啓迪童蒙之資焉。幼

者恆以此編朝誦夕讀玩味其意則
習熟之久德性將若自然也

明治十六年十月

今井匡之誌



小學
修身格言

例言

一凡ソ修身學ハ專ラ聖賢ノ遺訓ニ基キ以テ仁義道
德ヲ修ムルニ在リ乃チ古人ノ格言名譽ノ行爲等
ニ就テ兒童ノ德性ヲ涵養スルヲ旨トス
一古人ノ格言ハ須ラク兒童ヲシテ常ニ諳記口誦セ
シムベシ然レモ言簡約ナラザレバ能シ難シ故ニ
此編博ク古語ヲ纂メ以テ口誦ニ便シ其大意ヲ解
セシム蓋シ旦暮此等ノ語ヲ授テ以テ其身ヲ修メ
シメ忠孝節義ノ心ヲ勵マスベシ尚之ヲ敷衍シ古
人名譽ノ行爲等ヲ舉ゲ兒童ノ感懷ヲ奮興セシム

ルノ書世間尠トセズ、宜ク良書ニ就テ講授スベシ、
一此編言簡約、文字艱險或ハ兒童ニ適セザルノ論者
アルベシト雖モ、常ニ諳記口誦以テ造次顛沛ノ間
モ守ルニ易カラシメンヲ要ス、故ニ敢テ其語ヲ譯
セズ又苟モ近世ノ語ヲ擇バズ、古來聖賢ノ格言、孔
ダ彰カナル者ヲ哀ム、是レ他ノ修身書ト、其軌ヲ同
フセザル所以ナリ、

輯者識

小學
中等科
修身格言目次

- 通教第一
- 學術第二
- 善道第三
- 戒慎第四
- 禮讓第五
- 君臣第六

父子第七
夫婦第八
長幼第九
朋友第十

目次終

小學修身格言卷之四
中等科

學齋 林昇 校閱
鳳岡 今井匡之纂輯

通教第一

○十目所視十手所指大學

十人ガ十人皆善人ナリト云ヘバ必ズ善ナ

リ惡人ナリト云ヘバ必ズ惡ナリ

○營於利者多患說苑

己ガ利慾ノミニ耽リテ信義ヲ省ミザルモノハ何事ニツケ心ヲ痛メルコト多シ

○輕諾者寡信同

人ノ依頼ヲウケ輕々シク承諾スル者ハ果シテ信實ノ少ナキ者ナリ

○立功者賞亂政者誅說邦

國家ノ爲メニ功績アル者ハ勲賞ヲ賜リ政事ヲ亂ス者ハ誅罰ヲ蒙ムル

○居下流訕上君子惡之論語

下ニ居ル小人ハ兎角上ミノ事ヲ誹謗スルモノアリ此ノ如キ者ハ君子甚タ之ヲニクム者ナリ

○無以貧賤自輕說苑

人ハ貧賤ナリトテ自ラ身ヲ輕クシ志ヲ才

トス可ラズ學問成リテ行ヒ正シクレバ立
身スルモノナリ

○賢而多財則損其志史記

賢キ者ニテモ財貨多キハ其レガ爲メニ
繫ガレテ卑屈ノ志ヲ生ズル者ナリ

○愚而多財則益其過同

愚カナル者多ク財寶ヲ持テバ其レガ爲メ
ニ遊蕩ヲナシ身ノ過チヲ益スモノナリ

○不取於人謂之富孔叢子

貪欲ノ念ナク苟_レメニモ謂ハレナキ財貨ヲ
取ラズ凡テ人ニ依リ求ムル_一ナキ者ヲ真
ノ富ミト云フ

○不辱於人謂之貴同

高位ノ者ノミ貴人ニ非ズ己ヲ正シクシテ
人ノ辱_シメヲ受ケズ獨立スル者ヲ真ノ貴人
ト云フ

○巧言令色鮮矣仁。論語

言ヲ巧ミニシ顔色ヲヨクシテ外面ヲカザル者ハ必ズ善徳少ナキ者ナリ

○君子不重則不威。同

人ハ溫厚ニシテオモクシクナケレバ身ニ威光ナキ者ナリ

○誠在於心精通於物。淮南子

誠心ウチニ在リテ邪心ナケレバ其望ムトコロ必ズ通り其爲ストコロ必ズ成就セズト云フナシ

○天道虧盈而益謙。易經

天道ハ足ルヲ知ラヌ者ヘ損ヲ與ヘ謙遜スル者ヘ幸福ヲ益スモノナリ

○人道惡盈而好謙。同

人道ハ安富尊榮ヲ極メテ十分ナル者ヲバ

之ヲ惡ム謙遜シテ分限ヲ守ル者ヲバヨミ
シテ之ヲ愛ス

○百聞不如一見漢書

百タビ其事ヲ聞クヨリ實地ニ就キテ一タ
ビ之ヲ見ルガマシナリ

學術第二

○讀書百遍義自見三國志

書物ヲ讀ムヲ數百ペンナルハ自然ト其
意味ヤ義理ガ知レル者ナリ

○學而不思則罔論語

學問シテモ篤ト其意味ヲ思ヒ考ヘザレバ
其道理ニ暗キモノナリ

○思而不學則殆同

道理ノミヲ思ヒ考ヘテモ學問セザレバ實
地ニ臨ンデ不安心ナル者ナリ

○不知義理生於不學呂氏春秋

事ノ筋ミチヲ知ラヌ者ハ果シテ不學ノ者ニ限ルユエ勉メテ學問スベシ

○學者所以修性也。揚子法言

學問ハ人ノ性ヲ正シクシテ思ヒヲ善行ニ進マセ能ク人道ヲ明ニスル者ナリ

○學至乎歿而後止也。荀子

學問ノ道ハ深クシテ極リナシ故ニ賢人君子モ身終ルマデ學ンデ措カズ

○君子彊學而力行。揚子法言

君子ハ勉強シテ學問ヲナシ其學ビシヲ口ニ云フノミナラズ實地ニ之ヲ勤メ行フナリ

○學不在多要在精之。孔叢子

學問ハ多クノミ學ビテモ其道理ニクラケ

レバ益ナシ故ニ學ビシ_一ハ其意味ヲ精シク知ルガ肝要ナリ

○學如牛毛成猶麟角顏氏家訓

學問スル者ハ牛一足ノ毛ノ數ホドアレ_レ成就シタ者ハ麒麟ノ角ヨリモ希レナリト云フ譬ヘナリ

○不學牆面蒞事惟煩書經

學問セヌト牆ニムキタル如ク向フ先カ見

エヌモノユ工事ニ臨ンテ但心ヲワヅラハスノミ

○君子不差學不差問說苑

君子ハ如何ヤウナ_一デモ人ニ就キテ學ブ_一ヲ恥トセズ又知ラヌ_一ハ如何ナル人ヲモ嫌ハズ之ヲ問フ

○行有餘力則以學文論語

人々家業ノ暇アル片ハ少シノ時間デモ學

問スベシ暇アルヲ以テ學バント欲セバ遂ニ學ブ日ナシ

善道第三

○天地無親常與善人說苑

天地ハ誰ト云フ親シミナシ常ニ善行徳義アル者ヘハ幸福ヲ與フルモノナリ

○修身踐言謂之善行禮記

孝敬ヲ以テ善ク身ヲ修メ忠信ノヲヲ善ク實行スル者之ヲ善行ト云フ

○災妖不勝善政孔子家語

天災地妖アリト雖モ仁徳ナル善政ノ世ニハ災妖モ決シテ國家ヲ害スルヲ能ハザル者ナリ

○寤夢不勝善行同

世人惡夢ヲミテ其禍ヒアランヲ懼ルレ

氏常ニ善行アル人ニハ決シテ禍ノ來ルコトナシ

○得一善則拳拳服膺中庸

一ツノ善事ヲ得タレバ之ヲ大切ニ受ケ持チテ善ク守ルベシ

○見善從之聞義則服管子

善行ヲ見テハ己之ヲ爲サンコトヲ思ヒ信義ヲ聞テハ速ニ之ニ從フベシ

○有隱德者必有陽報說苑

陰ニテ人ニ慈善ノ事ヲ施セバ必ズ陽ラハニ幸福ノ報ヒアルモノナリ

○有隱行者必有昭名同

善行徳義ハ隱レテ之ヲ爲スト雖モ自然ト其名昭ラカニ世ニ著ハル者ナリ

○一家仁一國興仁大學

一家ナリ氏能ク教令ヲ守リ能ク仁慈ヲ施
スルハ他ノ者之ヲ見習ヒ自然ト國中ニ及
ボスモノナリ

○作善降之百祥書經

善行ヲナス者ニハ祈メズト雖モ天ヨリイ
ロクノ幸福ヲ降スモノナリ

○作不善降之百殃同

不善ノ行ヒヲナセバ天之ヲ惡ンデイロク

ノ災害ヲ降スモノナリ

○聞其聲不忍食其肉孟子

鳥獸ナドノ其鳴ク聲ヲ聞キテ今其肉ヲ食
フハ忍ビカネル者ナリ仁者ハ必ズ之ヲ爲
サズ

戒慎第四

○毒智者莫甚於酒說苑

人ノ智識ヲ害シ善心ヲ變シテ不善心トナ
サシムルハ酒ヨリ甚シキモノナシ

○毀廉者莫甚於色ヨリ。司

人ノ廉恥ヲヤブリ一身ヲ愆ルモノハ女色
ヨリ甚シキモノナシ慎ムベシ

○習閑成懶懶成癡宋史

凡テ人ハ閑暇ニ慣レルトキハ懶惰トナリ
懶惰遂ニ癡漢トナルナリ

○病從口入。禍從口出要覽

凡テ病氣ハ飲食ヲ慎マザルヨリ發リ禍ハ
言語ヲ慎マザルヨリ起ルモノナリ

○壁有耳。牆有縫博聞錄

他ニ見聞ク者ナシトテ不正ナ言行ヲ爲セ
バ反ッテ人ニ知レ易キ者ナリ慎ムベシ

○吹毛求疵漢書

修身格言 卷之四
毛ヲ吹キ分テ我身ノ見エ又疵ヲ求メ出ス
譬ヘナリ故ニ我身ヲ省ミズ人ノ過チナド
云フキハ反テ我過チヲ現スコアリ

○不牽乎卑亂之語史記

人ト雜談中其人卑劣ニシテ人倫ヲ亂ス如
キ談話ニ及フ氏必ズ其語ニヒカレテ同様
ノ雜談ヲナス可ラズ

○慎者恐於未成同

凡テ事ハ過チアルニ臨ンデ慎ムト雖モ及
フコナシ故ニ事ノ未タ出來ザルウチニ戒
慎シテ之ヲ防グベシ

○小人之過也必文論語

小人ハ過チヲ改ムルニ憚リテ之ヲカザリ
隱シ反ッテ其過チヲ重ヌルモノナリ

○其進銳者其退速孟子

凡テノコ先ヘノミ進ム者ハ亦退クコモ早

シ譬へバ書物ヲ讀ムニ先へノミ進ム者ハ
忘レ易クシテ後へ戻ル者ナリ

○事前定則不困中庸

物事ハ前以テ注意シ能ク定メオケバ其場
ニ臨ミテ困却スルコトナシ

○道前定則不窮同

凡テ事ノ道理ガ前以テ分明ニワカリオレ
バ其場へ臨ミテ差ヅマルコトナシ

○戒慎乎其所不睹中庸

常ニ其身ヲ戒メ未タ其事ヲ見ズト雖モ敢
テ輕忽ニ思ハズ之ヲ慎ムベシ

○恐懼乎其所不聞同

未タ其事ヲ聞カズト雖モ豫メ之ヲ恐レ慎
ミテ敢テ輕忽ニ思フ可ラズ

○克己可以治怒近思錄

怒ルコアル片ハ先ツ己ノ身ノウヘヲ省ミ
私情ヲ抑ヘツケテ怒リヲ止ムベシ

○明理可以治懼同

恐ル、コアル片ハ先ツ其道理ヲ明カニ察
シテ恐懼ノ心ヲ止ムベシ

○履霜堅氷至易經

霜ガ降レバ間モナク氷ガハルナリ凡テ災
害ノ目前ニ至ラヌサキニ身ヲ慎ミ心ヲ用

ウベキ譬ヘナリ

○禍福無門唯人所召左傳

禍福ノ入ル門トテ別ニナシ唯惡人ニハ災
禍ヲ降シ善人ニハ幸福ヲ降ス故ニ人々ノ
善惡ニヨリテ自ラ招クトコロナリ

○無面從退有後言書經

其人ノ面前デハ其意ニシタガヒ歸リシ後
ニテ彼レ是レ云フハ甚ダ卑劣ナルモノユ
エ言フベキヲハ其坐ニテ陳ブベシ

○無^レ以^テ所^ヲ好^ム害^ス身^ヲ
說苑

スキ好ムヲニテ其身ヲ害スルヲアリ所謂
能ク游ク者ハ溺ル能ク騎ル者ハ墮ルノ類
ナリ慎ムベシ

禮讓第五

○禮節仁之貌也。
禮記

禮讓節儀ハ人タル者本心ノ全徳ヲアラハ
ス所ノ形容ナリ

○禮人不答反其敬。
孔子家語

人ヲ敬禮シテ答禮ナキハ己ガ禮ノ未ダ至
ラザルカト考ヘミル可シ

○敬讓則不競於物唐書

敬禮辭讓ハ凡テ物ニキソヒ争ソハヌヲ以テ專ラトナス者ナリ

○狎甚則相簡孔子家語

友人ナド餘リナレクシクスレバ粗略ニナガレ無禮オホク終ニ交リヲ絶ツコアリ

○教訓正俗非禮不備禮記

教ヘヲ上ニ立テ訓ヘヲ下ニ示シ人民ノ風俗ヲ正シ行ヒヲ厚クスルハ禮讓ヲ以テセザレバ備ハラヌ者ナリ

○師父召無諾而起同

父母ヤ先生ノ呼ブ片ハ承知シタマ、緩々間ドリテハナラス直グニ起チテ行クベシ

○禮者士之所歸三略

禮儀ハ士タル者ノ最モ貴フトコロユエ禮

ヲ厚クシテ召セバ士ハ之ニ從ヒ仕フ

○辭讓之心禮之端也。孟子

人ニ謙遜シテ何トモ扣ヘメニ辭退スルトハ禮儀ヲ行フノ始メナリ

○居不主奧行不中道。禮記

父母長者ト一座スル所ハ奧ノ方ヘ坐ル可ラズ又道ヲ同行スル所ハ必ズ道ノ傍ヲ行クベシ

○入者每門讓於客。同

長者ヤ賓客ト門内ヘ入ル所ハ後ヘ扣ヘテ先ヅ長者ヤ客ヲ入ルベシ

○不敢以富貴加父兄。同

己富貴ナル身分ナリト富有ヤ位官ナドヲ以テ父兄ヲ見クダシ無禮ヲ加フ可ラス

君臣第六

○天地泰寧君之德也。忠經

天下泰平ニシテ萬民鼓腹ノ樂ミヲ得ルハ全ク君主ノ盛德ニ由ルナリ

○臣惡莫深於毀君。後漢書

臣下ノ惡事ハ種々アルウチ君ノ一ヲ誹謗スルハ罪ノ尤モフカキ者ナリ

○褒忠義以勵臣節。同

臣下ノ忠義ヲ褒賞シテ以テ臣タル者ニ忠節ヲス、メ勵マスベシ

○爲君者務堅其政。荀子

君主ノ爲メヲ思フ臣下ハ務メテ其政事ヲ堅固ニナシ以テ太平ヲ祈ル

○忠則福祿至焉。忠經

臣下タルモノ君主ニ忠義ヲ盡ス片ハ其身ニ福祿ソナハリ家ヲオコス者ナリ

○不忠則刑罰加焉同

君主ニ仕ヘテ不忠不義ナル者ハ其身ニ刑罰ヲ蒙リ家ヲウシナフ

○固其忠以明其信同

忠義ノ心ヲ堅固ニシテ臣下ノ節ヲツクシ以テ其信實ヲ明カニスベシ

○忠心藏之何日忘之詩經

忠義ノ心アツクシテ誠實ナル者ハ一日モソノ君主ヲ思フテ忘レズ是レヲ真ノ忠臣ト云フ

○仕官常以不遇處之說苑

官ニ仕ヘテハ常ニ厚ク用中ラレヌ者ト思ヘバ心ニ不足ノ生ズルヲナク其身ニ過チナカルベシ

父子第七

修身格言 卷之四 父母
○孝至矣。一言而該。

揚子法言

孝ハ百行ノ本ナリ故ニ父母ニ孝ヲ盡スノ
一事ハイロクノ善行ヲ兼ヌルモノナリ

○子罪莫大於累父母

後漢書

子タル者ノ罪ハ父母ニ心勞ヲカケルヨリ
大ヒナル罪ハナシ

○父母有過諫而不逆

禮記

父母過失アレバ氣ヲ和ラゲ色ヲ怡バシク
シテ之ヲ諫メ必ズ父母ヲシテ怒リヲ起サ
シムルヲ勿レ

○父母唯其疾之憂

論語

父母ハ唯其子ガ病ヒニ罹ルカト其レノミ
常ニ心配ス故ニ子タル者ハ其身ヲ慎ミテ
父母ノ心ヲ安ンズベシ

○事君不忠非孝也。禮記

君主ニ仕ヘテ不忠ナレバ父母ノ心ヲシテ安カラザラシム是レ大ヒナル不孝ナリ故ニ孝ヲ以テ君ニ事ルモノハ則チ忠ナリ

○父母惡之懼而無怨。同

父母吾ヲ惡マバ恐レ入リテ父母ノ機嫌ヲ伺ヒ其心ノ和ヲグヲ待ツベシ決シテ其慈愛ナキヲ怨ムベカラズ

○邑名勝母曾子不入。說苑

曾子ハ至テ孝行ノ人ニテ勝母ト云フ邑里ヘ入ルナシト云ヘリ是レ其母ニ勝ツノ字ヲ惡ムガユエナリ

夫婦第八

○昏禮萬世之始也。禮記

婚姻ハ世嗣ヲ求ムル爲メニ行フ者ナリ故ニ萬世ノ始メト云フ輕卒ニ行フベカラズ

○家貧思良妻。史記

良キ妻ハ善ク家ヲ守リ經濟ニ心ヲ用ウ故ニ困窮ナル者ハ良キ妻ヲ娶ランコトヲ思フ

○恆其德貞婦人吉。易經

婦人ハ溫柔ニシテ善ク從順ナルヲ以テ婦德ト云フ故ニ此ノ德ヲ常ニ守ル婦人ハ正シクシテ吉慶アリ

○穀則異室死則同穴。詩經

夫婦タル者存命中ハ善ク禮義ヲ正シクシテ其部屋ヲ別ニス死シタルハ同穴ニ葬ルベシ

○婦有長舌維厲之階。同

婦人ノ多言ナルハ其家ノ禍ヲヒキ起ス階梯ナリ慎ムベシ

○苟非其義貞夫不好要覽

苟ノニモ其義理ニカナハ又婦人ヲバ貞夫タル者スキ好ミテ之ヲ娶ラズ

○夫信妻貞家之福史記

夫タル者信實ニシテ其妻貞操ナレバ其家ノ幸福ナリ

○前貧賤後富貴不去禮記

貧賤ノ時ニ娶リタル妻ハ其後富貴ニナリシトテ謂レナク離縁ス可ラズ

長幼第九

○性行端潔居家孝悌明道文集

氣質正シク行ヒ正シクシテ家ニ居ルハ善ク父母ニ孝ヲ盡シ弟少ヲ友愛スベシ

○兄弟之恩異形同氣說苑

兄弟ハ身體ヲ異ニスレモ素ト同氣一體ノ
モノユエ父母ノ恩ヲ受クルモ亦オナジ

○入則孝出則弟論語

子弟タル者ハ家ニ居リテハ能ク父母ニ事
ヘ外ニ出テハ長者ニ從順ナルベシ

○惟孝友兄弟書經

兄弟ノ間ムツマシク友愛深キモノハ父母
ヘ孝行ヲシクスモ又深キ者ナリ

○男年長大莫習樂酒明心寶鑑

男兒ハ成長スルニ從ヒ決シテ飲酒ヲ以テ
樂ミトナスコトヲ習ハスコトナカレ

○女年長大莫教遊走同

女兒ハ成長スルニ從ヒ決シテ外ヘ出テ遊
ヒ戯レカケ走ルナドコトヲ教フルナカレ

○慈仁少小恭敬耆老說苑

年少ノモノヲバ慈愛シテ之ヲナツケ年長
ノモノヲバ恭シテ敬フベシ

朋友第十

○修其身而後交揚子法言

朋友ト交ルニハ先ツ己ノ行狀ヲ正シクシ
而シテ後チ信義ヲ以テ交ルベシ

○交不信非吾友也說苑

朋友ト交リテ其人若シ信義ナクバ吾益友
ニアラザルナリ厚ク交ル可ラズ

○與人交外淡中堅白氏文集

友人ト交ルニハ上ベヲ淡薄ニシテ中心ハ
堅ク信義ヲ以テ交ル可シ

○交淺而言深是亂淮南子

格別ノ親友ニ非ズシテ言バノ餘リ深切ス
ギル者ハ多クハ求ムル_一アリテ友道ヲ亂
ルモノナリ

○勢利之交古人羞之_{漢書}

權勢アル者ヤ富貴ナル者ニ志ヲ枉ゲテ交
リヲ結ブハ古ヘノ君子ハ之ヲ愧ヅ

○一貧一富乃知交態_{說苑}
人ハ貧キ時ト富ム時トハ思想ノカハル者

ユエ此ノ時ニ當リテ朋友信不信ノ舉動ガ
知レルモノナリ

○一貴一賤乃見交情_同

人ハ貴キ時ト賤キ時トハ思想ノカハル者
ユエ此ノ時ニ當リテ朋友信不信ノ情合ガ
知レルモノナリ

○友也者友其德也_季

朋友ハ富貴利慾ノ爲ニスル者ナラズ其德

義ヲ友トスル者ナリ

小學修身格言卷之四終

明治十六年十月二日版權免許
同年十月十六日刻成出版
同十七年四月十四日訂正御届

定價金拾三錢

校閱者

林昇

群馬縣士族

纂輯者

今井匡之

神奈川縣平民

出版者

山中孝之助

東京府平民

發賣者

竹内輝吉

群馬縣平民

群馬縣下高崎本町九番地

五

175
7
293

大日本教育書會館			
一	四	四	一
八	四	三	八

新書門

冊

冊